

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスLUMOJ上校	公表日	2025年 2月 28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
運営・施設整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		平日はA・B・Cのクラスに利用者を分散させている。	人数が多いと息ない場合はあるので、把握していく。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員配置数は適切であるか。	○		足りるように、デスク作業等の効率化をしている。	今後も効率化を進めていく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		手すりや、保護者がいない時は子供だけで昇降しないように気を付けている。	通り道でも発達箇所の周知をしておく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎朝、掃除や消毒を行い環境を整えている。	今後も徹底していく。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		いくつかの部屋があるので、必要に応じて利用している。	今後も徹底していく。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	○		個人で行っていることが多いが、必要に応じて支店長間で話し合っている。	今後も徹底していく。
	7 保護者向け評価表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		1年に1回、評価の集計を行い、改善に努めている。	プログラム内容について職員間で考えを深めていく。
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎朝の朝礼で話し合いの場を設けている。	日々職員間で確認・改善を行っている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	○	行っていない。	現在は、利用者・社内の改善評価とされている。第三者による外部評価については現在実施の予定はないが今後必要に応じて業務を検討する。
	10 職員の昇進の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎週の中心研修や、スキルアップ研修に参加している。	研修と連携を図っていく。
適切な支援の実現	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		LPにて公表している。	適切に対応していく。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を包括的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		話し合いの時間を設け保護者のニーズなどを職員間で共有している。	今後も徹底していく。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の上で、こどもの療育の利益を考慮した検討が行われているか。	○		朝礼や療育前に職員間で話し合いを行うようになっている。	今後も徹底していく。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		活動内容や一時預託で提供しているが、お子さんの発達や状態に合わせてサポート職員が個別対応などの支援を行っている。	今後も徹底していく。
	15 こどもの適切な行動の促進や、標準化されたゴールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを活用しインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		確認し、教室内で日々話し合い改善に向けてアップデートしている。	今後も徹底していく。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援、地域連携」のねらい及び支援内容が盛り込まれており、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が記述されているか。	○		朝礼時に話し合いを行う際の必要事項を伝えるよう支援についての意見交換を行っている。	今後も徹底していく。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		ミーティングでお子様の情報共有を全チームで行っている。	子どもが抱えるようなプログラムを考案していく。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎日の活動内容を調整しているため、それをもとに改善を図り、個性化せず楽しんでも運動が出来るよう工夫している。	プログラム内容について職員間で考えを深めていく。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、実施が行われているか。	○		日々確認をし取り回り、取り組んでいる。	今後も徹底していく。
	20 支援開始前に保護者で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チーム連携して実施を行っているか。	○		毎朝朝礼にて共通理解、役割分担を行っている。	今後も徹底していく。
21 支援終了後は、職員間で必ず話し合いを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	○		その日に合った気づきになった点などは全員で振り返り出来るようにしている。	LPでの関係者での日ごとの話し合いも必要ないこともあるが、なるべく毎日出来るように徹底していく。	
関係機関や保護者との連携	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		電子媒体や用紙に記入し、保護者へも電子媒体記録を配布して共有している。	日々職員間で確認・改善を行っている。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の改善の必要性を判断し、適切に実施を行っているか。	○		個別支援計画を6か月に1度見直しをして、保護者とのモニタリングを行い、支援計画書を作成している。	モニタリング的にお話をしているが、周知できていない事があったため改善していく。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて実施を行っているか。	○		組み合わせて行うように、日々工夫して対応している。	内容をどんどんアップデートしていけるように、話し合いを行う。
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定するの力を育てるための支援を行っているか。	○		自身でコースを選んで取り組める活動メニューを組んだり、おまて着脱したりする機会を設けている。日々工夫して支援を行っている。	今後も徹底していく。
	26 障害児支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した上で参加しているか。	○		参加できている。	事業所全体で理解度を上げていく。
	27 地域の支援、連携（本支援や協力関係機関）、関係機関、保護、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制が確立されているか。	○		依頼は発生、アクションしている。	今後の機会が少ないので、今後さらに連携を強化していきたい。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（遠征時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者と連絡をとっている。	学校とは連絡を取っており、保護者をして連絡取りたい。
	29 放課後に利用している保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解が図られているか。	○		必要に応じて連絡、情報の共有は出来るようにしている。	保護者の同意を得て情報共有できるようにしていく。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援等の情報を提供するなどしているか。	○		該当なし。	該当者なし。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		話をしたことはいずれある。	現在は行われていないが、必要に応じて機会を設けていく。
保護者への説明等	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他とのこどもと活動する機会があるか。	○		該当なし。	現在は行われていないが、必要に応じて機会を設けていく。
	33 「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	○		該当なし。	現在は行われていないが、必要に応じて機会を設けていく。
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎日のセッション後に保護者と話す機会を設けており、国語などでなかなか入らない保護者にはSPで報告するなどして工夫していること。	今後も徹底していく。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供を行っているか。	○		話をすることで、必要とできることは少ししている。	現在は行われていないが、必要に応じて機会を設けていく。
	36 授業報酬、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		選択している。	今後も徹底していく。
	37 放課後等デイサービス契約を作成する際には、こどもや保護者の意向、意欲、こどもの療育利益の優先考慮の観点から考え、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者や子どもたちの要望を汲み取りつつ、日々のセッションに合わせて行うようにしている。	今後も徹底していく。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		契約の際に、「重要事項同意書」を用いて話を確認してから同意を得ています。	適切に対応していく。
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、個別や必要な助言と支援を行っているか。	○		運動以外の事でも相談し、家族の支えになるような場も出ている。	今後も徹底していく。
	40 父母会の活動を支援することや、保護者会等を組織する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		該当なし。	現在は行われていないが、必要に応じて機会を設けていく。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者からの苦情が出た際、迅速に対応し、できる限りの場面で解決できるようにしている。	適切に対応していく。
事業所等の対応	42 災害時の連絡等を行うことにより、LPやLP活用を促進するとともに、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		LPやLP活用の一斉発信を活用して連絡情報を発信しています。	今後も徹底していく。
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		適宜研修を行っています。	今後も徹底していく。
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		遠征の際にその日の様子をお話ししたり、動画を発信しています。	今後も徹底していく。
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	○		該当なし。	現在は行われていないが、必要に応じて機会を設けていく。
	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		校舎内でマニュアルを作成し、定期的に研修を行うことで職員間とも情報共有を行っています。また、避難訓練は年々2回行い、実演訓練を行っています。	適切に対応していく。
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他の必要な訓練を行っているか。	○			適切に対応していく。
	48 事前に、保護や予防活動、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	○		てんかんの発作が起きたことのある利用者に対しては体調の確認を行うことを行っています。	適切に対応していく。
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	○		おやつや食事の提供を行っています。	該当者なし。
	50 安全計画を作成し、安全確保に必要な研修や訓練、その他必要な訓練を実施する等、安全確保が十分な体制の中で実施が行われているか。	○		避難訓練等では実際に警報の音を聞いたり、数値を見たり等子どもたちがイメージを持って参加できるようにしています。	適切に対応していく。
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		個別支援計画書に避難場所の指示を行っています。	より詳細な取組内容の周知が出来るよう、取組などの機会を活用して取り組んでいく。
52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○		怪我が発生した際、ヒヤリハットを作成し、再発防止に向けて対策を考えています。	適切に対応していく。	
53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		適宜研修を行い、情報共有を行っています。	適切に対応していく。	
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束の必要な場合、遠い場合は指導員間で話し合いサポートし合っています。説明、了承も得ております。	今後も徹底していく。	